

# 令和8年度 北谷地区市長と語る会 議事要旨

■日 時 令和8年6月6日（土）午後7時00分～午後8時15分

■場 所 北谷町コミュニティセンター

■出席者 12名

## 1. 市政報告会

## 2. 意見交換会

### 1) 東山いこいの森の再開について、若者の働く場所について、全天候型グラウンドの整備について

意見

・東山いこいの森が4年ぶりに再会されるということで、今後の賑わい創出に期待している。取立山や赤兎山には県外からも多くの登山客が訪れており、家族連れからもキャンプ場の再開について声をよく聞いていたため、大変喜ばしい。また、取立山はミズバショウの名所としても評判が高く、白山や立山などの眺望も素晴らしく、大きな観光資源である。

・若い世代の働く場がない。以前は地元で就職する選択肢も多かったが、現在は子どもたちから「勝山には働く場所がない」と言われる。地元で育った子どもや孫たちが勝山に住み続けられる環境を整えてほしい。

・子どもの体力づくりのための全天候型の陸上競技場を整備してほしい。県内7市の中で、全天候型のグラウンドがないのは勝山市だけで、子どもたちが十分な環境で屋外競技に取り組めない。バドミントンなどの施設は充実しているが、陸上競技や体力づくりの基礎となる施設が不足しているので整備を検討してほしい。

市長

・東山いこいの森はリニューアルが完了し、7月から本格稼働する予定。施設は非常にきれいになり、北谷地区だけではなく勝山市全体のにぎわいにもつながると期待している。市としても積極的にPRに協力していきたい。

・子どもたちが希望する職種が市内に少ないことは事実。しかし働く人がいないことも大変深刻な課題である。市内の繊維企業や製造業、福祉施設、介護施設だけではなく、市役所も人材確保に苦労している。人口2万人規模の自治体では、あらゆる職種をそろえることは難しく、企業誘致を行ったとしても若者の希望する仕事と一致するとは限らない。今は、既存企業や観光産業を伸ばしていくことが重要であると考えている。

・全天候型の競技場は中学校跡地の活用を検討する中で構想を持っている。実現したいと考えているため、もう少し時間をいただきたい。

### 2) 新たな交通体系について

質問

平日はスクールバスが運行するということだが、例えば、朝、市街地から北谷へ上がってきて、夕方降りたいと言った場合はどのような利用になるのか。

市長

年間200日は朝夕にスクールバスを走らせる。平日の朝はスクールバス、8時以降はフルデ  
マンドバスが午後4時まで走ることになる。午後4時以降は、スクールバスの帰りの便があ  
るので利用できる。

質問	生徒の利用がない場合でも、北谷地区でスクールバスは動くのか。
市長	生徒がいなくてもスクールバスは走らせる。大人も無料で利用いただける。フルデマンドバスは有料となる。
質問	野向のフルデマンドバスの実施状況はどうか。もし利用者が重なった場合、希望の時間に乗れないなどの苦情は出ていないのか。
未来創造課係長	利用が集中する時間帯は待ち時間が発生することもあり、一部でそういった声もあった。30分程度余裕を持った利用をお願いしたい。時間ぴったりに出発したり、到着したいということだと、希望に沿わない場合も出てくる。
市長	現在は、野向、荒土、北郷の地区限定でフルデマンドバスを運行しているが、令和9年度からは市内全域で利用可能となるため、谷から平泉寺や遅羽などへの移動もできるようになる。また、5台体制で運行するため今のような問題はある程度解消されると思う。
意見	以前、フルデマンドバスの予約はオンラインで行うと聞いたが、高齢者にはハードルが高いと思うが。
市長	オンラインでもできるが、電話でも対応できるようにする。高齢者でも利用しやすい仕組みにしたいと考えている。

### 3) 加越国境の登山道整備について

意見	加越国境の国体で整備したコースは長年十分な整備が行われておらず、地域の高齢化も進んでいるため、地元だけでは維持管理が難しい。県外からも多くの登山客が訪れており、白山の眺望も素晴らしいので、登山道の整備について県にも要望をお願いしたい。
市長	県に対して、こうした要望があったことを出来るだけ早く伝えていきたい。

### 4) 空き家対策について

質問 意見	放置された空き家が地域住民に精神的な負担を与えている。個人の財産なので市ではどうしようもないことはお聞きしているが、自分たちの身近に放置された空き家があると、本当に心が痛む。こういった空き家に対して市はどのような対応や指導をしているのか教えてほしい。
----------	---